

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (2026年7月検針分)

大東ガス株式会社は、「原料費調整制度」による2026年2月～4月の平均原料価格に基づき、2026年7月検針分の単位料金を2026年6月検針分に比べ、1m³当たり +0.80円(税込み)調整させていただきます。

これにより、1か月に29m³のガスをお使いになる標準家庭で、6,571円(税込み)となり、2026年6月検針分に比較して、24円(税込み)ガス料金が上がります。

2026年7月検針分に適用するガス料金につきましては、当社の本社や営業所の店頭での掲示や6月の検針票であらかじめお客さまにお知らせいたします。

■一般ガス供給約款料金表

(税込)

	1か月の ご使用量	基本料金 (円/件・月)	適用単位料金		基準単位料金 (円/m ³)
			2026年7月 (円/m ³)	2026年6月 (円/m ³)	
料金表A	0m ³ から 20m ³ まで	1,239.70	191.44	190.64	162.93
料金表B	20m ³ をこえ 80m ³ まで	1,729.20	166.96	166.16	138.45
料金表C	80m ³ をこえ 200m ³ まで	2,191.20	161.19	160.39	132.68
料金表D	200m ³ をこえ 500m ³ まで	3,419.53	155.04	154.24	126.53
料金表E	500m ³ をこえ 800m ³ まで	5,904.72	150.07	149.27	121.56
料金表F	800m ³ を こえるもの	10,728.43	144.04	143.24	115.53

■平均原料価格・原料価格変動額・基準単位料金単価調整額

	2026年2月 ～4月	2026年1月 ～3月	基準平均 原料価格
平均原料価格 (円/t)	88,220	87,310	56,160
LNG平均価格 (円/t)	87,440	87,000	56,190
LPG平均価格 (円/t)	97,800	88,730	53,100
原料価格変動額 (円/t)	+32,000	+31,100	---
単位料金調整額 (円/m ³)	+28.51	+27.71	---

*LNG平均価格、LPG平均価格は、ともに貿易統計値。

■標準家庭における影響

(税込)

1か月のご使用量 29m ³	適用料金		増減
	2026年7月	2026年6月	
ガス料金 (円/月)	6,571	6,547	+24

*標準家庭ガス料金は、ご家庭1件あたり平均使用量/月(2018年～2022年の5か年平均)にもとづき算定しています。

<参考>

■原料費調整制度の概要

- * 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス 1 m³当たりの単価)を調整する制度です。これにより、使用量が同じ場合でも原料価格の上昇時にはガス料金が高くなり、下落時には安くなります。
- * 「基準平均原料価格(56, 160円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の 5 か月前から 3 か月前の 3 か月平均における L N G、L P G の輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動 1 0 0 円につき、ガス 1 m³当たり 0. 0891円(0. 081円に 1. 1(消費税)を乗じた値)単位料金が調整されます。
- * 原料価格の変動については、L N G、L P G とも貿易統計実績によります。
- * 原料費調整における平均原料価格の上限については、設定しておりません。

■単位料金調整額の算定方法(2026年7月検針分)

・ 平均原料価格の算定

L N G 平均価格(貿易統計値)	87, 440円/t	×	0. 9479
+ L P G 平均価格(貿易統計値)	97, 800円/t	×	0. 0546
88, 224. 256			
↓ (10円未満四捨五入)			
88, 220円/t			

・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 56, 160円/ t からの変動額)

88, 220円/t	−	56, 160円/t	=	32, 060円/t
				↓ (100円未満切捨て)
				32, 000円/t

・ 単位料金調整額(1 m³当たり調整額)の算定

単位料金調整額 = +32, 000円/t ÷ 100円 × 0. 0891 = +28. 51円 (小数点第 3 位以下切捨て)